

## 地域社会・コミュニティへの貢献

### 基本的な考え方

アルプス物流グループの事業は社会基盤の上に成り立ち、地域と密接にかかわっていることから、企業理念で「豊かな社会の実現に貢献」することを宣言しています。当社グループは、良き企業市民として外部の組織とも連携・共働を図りながら、社会課題の解決や、より良い社会の実現に向けて広く貢献していきます。

### 具体的な取り組み

#### 「サステナ提案」による、従業員起点での地域貢献活動の推進

当社は、2022年12月より新たに「サステナ提案制度」を設け、2023年3月までに約50件の活動提案がありました。従業員による拠点周辺の美化清掃活動や、マイ箸・マイコップの利用推奨などを通じ、従業員一人ひとりの意識啓発につながりました。

「サステナ提案制度」は貢献度、持続性、独創性、応用性の観点からサステナビリティ推進委員会事務局で評価を行い、高評価を得た提案者に対しては報奨金を授与しています。2022年度は金賞1件、銀賞4件、銅賞30件が授与されました。



#### 従業員の声



成田営業所  
兼坂 枝里子

成田営業所では、22年11月から月に一度、障がいを持つ方を雇用するNPO法人が運営する無農薬・有機栽培農家による規格外の野菜販売会を実施しています。無農薬・有機野菜には栄養があり、皮も安心して食べられることから、健康経営を目指している当社で何かできないかとの思いを持ち、近隣農家を調べて訪問しました。お話しを伺うなかで、無農薬野菜は形が悪くて処分される野菜が多いことを知り、フードロス対策に貢献したいと考え、販売会を実施するに至りました。また、販売会を通してNPO法人に携わる障がいを持つ方と営業所員との交流も生まれ、社会貢献の一翼を担うことができ嬉しく思います。

### 消費物流事業 ドライバーによる「見守り活動」

高齢化という社会課題が深刻化するなか、生協の個配事業では一人暮らしのご高齢の組合員様へ配達することが年々増えてきています。流通サービスのドライバーは、単にモノを届けるだけではなく、週に一度の配達時に「普段の配達時との変化はないか」という「見守り」の視点を持って配達をすることで、「安全」「安心」「笑顔」をお届けする配達サービスを実現しています。生協と共同で緊急時の対応マニュアルを作成しており、ドライバーへの研修・教育を行うほか、社内報で功労者を紹介することで一人ひとりの意識向上につなげています。組合員様のお宅に限らず、「見守り」の意識を持ったドライバーが、配達途中に歩道で転倒された高齢者の救護をするなど、2022年度は計8件の貢献事例がありました。

#### 従業員の声



(株) 流通サービス  
尾道センター  
青山 幸治

2022年12月、配達に伺った際、室内で倒れている高齢の組合員様を発見しました。何度声をかけても反応がないため、緊急連絡先へ状況を伝え、救急車を要請しました。組合員様は病院に搬送され、その日の夕方には回復されたと伺い、とても安堵しました。私は日ごろ新人教育を担当しており、高齢の組合員様のお宅に伺う際には、些細な変化を見逃さないようアンテナを張り、またいつもと違うことがあったら報告するようにと指導しています。

### 生物多様性保全の取り組み

SDGsなどでも事業者にも生物多様性の保全が求められるなか、当社では2020年より本社・横浜営業所の敷地内にて、一部地域で絶滅危惧II類に指定されている「ウマノスズクサ」を育成しています。

ウマノスズクサは、同じく一部地域で絶滅危惧IB類に登録されている「ジャコウアゲハ」の幼虫が食草としており、この保全を目的としています。2022年にはジャコウアゲハ50匹以上が孵化し、ウマノスズクサも増やしました。また、雨水タンクを設置し、栽培に活用しています。

